

告知板

秦野市畜産まつり
(第62回畜産共進会開催)
家畜コンテストの畜産共進会を併せて「畜産まつり」を開催します。秦野市の畜産を身近に感じることができ、機会があるので、家族でついでにきてください。
◎日時 10月7日(日) 午前10時～午後2時
◎場所 田原ふるさと公園中丸広場
◎出品家畜 乳牛
◎内容 小動物ふれあいコーナー、乗馬・乳搾り体験、堆肥の無料配布、豚肉バーベキュー・焼きそばの模擬店など
お問い合わせは、はだの都市農業支援センターまで。
881-7800

本年検査予定日	検査場所	該当地区
9月28日(金)◎	大根支所	大根
10月2日(火)	大根支所	大根
10月4日(木)	大根支所	大根
10月9日(火)	大根支所	大根
10月11日(木)◎	本所	大根以外 全地区
10月18日(木)	大根支所	大根
10月23日(火)	大根支所	大根
10月25日(木)	本所	本町
10月30日(火)◎	本所	全地域持ち帰り検査
11月6日(火)	本所	東・南・西・北・上

役立つジャンルの本が500冊以上並んでいます。家光協会の出版の新聞図書の閲覧もできます。ぜひ図書室をご利用ください。
◎貸出日数 2週間、1人3冊まで
◎開室日 月・金曜日(祝祭日を除く)
◎開室時間 午前8時30分～午後5時
◎貸出し・返却 図書室にある専用の用紙に必要事項を記入するだけの簡単な手続きです。お問い合わせは組織教育課まで。
881-7714

1では、ホームヘルパーを募集しています。年齢不問。働きやすい職場です。お気軽にお電話ください。
◎業務内容 訪問介護
◎資格 介護職員の初任者研修修了者(旧ヘルパー2級以上)、要普通免許
◎時給 1200円(土日祝の加給有り)※採用3カ月までは時給1000円
◎時間 午前8時～午後6時※時間勤務日は応相談
◎待遇 制服貸与、交通費規定支給
お問い合わせはJAはだのケアセンターまで。
883-7210

写真コンテスト
作品を募集!
農の魅力を伝えよう!

「ゆとり」「やすらぎ」「うるおい」を感じる秦野の農業の素晴らしさを表現した写真をお待ちしています。

応募締め切りは 10月19日(金)

第14回JAはだの「農」の魅力写真コンテストの募集要領・応募用紙は 各支所・支店・組織教育課へ

☆「豆腐の日」2日(火) 一部商品を店頭価格から割り引きして販売します。試食を用意する他、豆腐を使ったレシピも紹介します。
☆「ユースマルシェ」6日(土) 青年部員がサツマイモなどを対面販売します。「大学イモ」の試食もご用意します。
☆「新米まつり」6日(土)、7日(日)、8日(月) 秦野産「はるみ」の新米などを販売します。当日は楽しいゲームもご用意します。
☆「さつまいもの日」13日(土) 店外の特設スペースで、秦野産のサツマイモを販売します。試食もご用意しますので、ぜひ食べ比べてみてください。
☆「乾物商品集合」13日(土)、14日(日) 乾物をはじめとした珍味の数々をご用意。セット購入がおすすめです。
☆「国産豚の加工品」13日(土)、27日(土) この日限りの特売品をご用意。試食すれば国産品のおいしさを実感できますよ。
☆「キノコの日」15日(月) 秦野産や他産地のキノコのうち、一部商品を店頭価格から割り引きして販売します。キノコを使ったレシピもご紹介します。
☆「十三夜」21日(日) 農家のお母さんが真心込めて作ったまんじゅうや団子を販売します。



東田原の 大津 繁さん
出荷品目 栗やブルーベリー、露地野菜など年間20品目以上
ブルーベリーの次は栗といったように、生産サイクルを考えながら、各品目を丹精して栽培しています。新しい品種にも挑戦し、常に良いものを出荷できるように心掛けています。

野焼きと農業使用について
屋外における焼却(野焼き)は、「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」で規制されています。農林業者については、自己の農業・林業の作業に伴って行う焼却で、軽微なものに限り例外として認められています。
やむを得ず農地などで野焼きを行う際は、マルチなどのプラスチックを取り除き、煙などによる周囲の生活環境に影響がないように、乾燥させてから少量ずつ焼却し、風向き、時間帯などの配慮をお願いします。なお、生活ごみや剪定(せんてい)枝などは、市の収集

貸金庫(全自動) ◎年間利用料 1万9400円(税込)
◎利用時間 午前8時30分～午後9時
◎会議室、多目的ホール ◎貸出日時 平日午前9時～午後5時(土曜日に利用の際は要相談) ◎利用料 組合員組織およびJA主催団体の場合は無料。その他団体や個人での利用は料金が掛かります。
お問い合わせは本町支所まで。
881-0019

西日本豪雨被災地に支援を プラカード掲げ協力募る

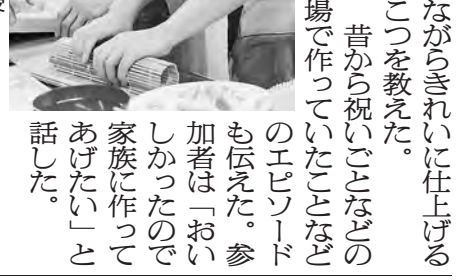


参加者に寄付を呼び掛ける部員

女性部が寄付呼び掛け

女性部は8月25日、秦野市文化会館で組合員や市民に西日本の豪雨災害に対する寄付を呼び掛けた。本部役員7人が、JAはだの主催の映画「じんじゅ」の上映会の開始前に行い、30分ほど3万2947円の寄付金を集めた。
募金活動は、同部の本部役員会で「被災者の役に立てば」と決定し、組合員や市民が多く集まる同上映会に併せて実施した。
部員は「JAはだの女性部」と書いたプラカードを掲げ、「被災者支援にご協力ください」と声を掛けながら寄付を募った。
募金活動は、同部の本部役員会で「被災者の役に立てば」と決定し、組合員や市民が多く集まる同上映会に併せて実施した。
部員は「JAはだの女性部」と書いたプラカードを掲げ、「被災者支援にご協力ください」と声を掛けながら寄付を募った。

支部だより
北支部は3日、北公民館でふるさと料理教室を開き、北幼稚園の園児の母親11人に太巻きすし作りを指導した。
部員は、厚焼き卵で巻いた「卵巻き」と、断面がバラの花に見える「バラすし」の作り方を指導。具材の量やまきすしの使い方など、手本を見せた。
お茶飲み交流会 大根支部は6日、大根支所で開催して同支所で「お茶飲み交流会」を開いた。高齢者の健康維持と仲間つくりが目的。15人の参加者と簡単なスポーツなどを行った。
部員らは、スポーツ輪投げ「クロリティー」を企画。高齢者でも楽しめる、



男女差も関係ないことか

「イースト」は東地区のバドミントンサークルです。毎月、奇数週の月曜日の夜8時から、東中学校の体育館で練習しています。メンバーは、サークルの活動以外にも、ボールケットボール大会や運動会、農業まつりなどの女性部の活動に積極的に参加しています。また、一緒においしいものを食べに行くこともあります。
バドミントンの練習中、コートの中でスマッシュを決めては笑い、失敗しては笑い、とにかく何をしても笑いが絶えない、そんなサークルです。
ぜひ一緒に汗を流してみませんか。いつでも大歓迎です。

熱戦繰り広げるバドミントン大会
女性部は8月28日、上小学校の体育館で球技大会(バドミントンの部)を開催した。部員の健康増進と相互の親睦を深めることが目的。部員15人が参加した。
試合はA・Bの二つのブロックに分かれて実施。ダブルスの総当たり戦で、ブロックごとに優勝ペアを決めた。
熱戦を繰り広げる中、部員はペア同士で声を掛け合っていた。部員は「良い汗をかけたし、仲間との絆が深まった。良い運動になったのでまた参加したい」と話した。

10月の女性部行事予定表		
3日(水)	9:00	女性部運動会(雨天4日)
5日(金)	9:00	農業まつり運営委員会
//	13:00	本部役員会
10日(水)	8:30	西支部「グルメ旅行」
11日(木)	9:30	支部役員会(大根・東)
//	13:30	支部役員会(北・上)
12日(金)	9:00	支部役員会(南)
//	9:30	支部役員会(西)
//	13:30	支部役員会(本町)
//	10:30	南支部「料理講習会(エークック)」
15日(月)	9:30	本町支所「お茶飲み交流会」
16日(火)	10:00	文化交流会実行委員会
17日(水)	9:30	ふるさと料理教室(ほりかわ幼稚園)
18日(木)	9:30	JAはだが野女性会との交流会
19日(金)	9:30	ふるさと料理教室(つるまきこども園)
22日(月)	11:30	家の光 クッキング・フェスタ
23日(火)	10:00	女性理事と本部役員との防災学習会
24日(水)	13:00	西支部「こうじ造り」(26日まで)
30日(火)	9:30	東支所「お茶飲み交流会」
31日(水)	9:30	ふるさと料理教室(みなみがおか幼稚園)

「イースト」は東地区のバドミントンサークルです。毎月、奇数週の月曜日の夜8時から、東中学校の体育館で練習しています。メンバーは、サークルの活動以外にも、ボールケットボール大会や運動会、農業まつりなどの女性部の活動に積極的に参加しています。また、一緒においしいものを食べに行くこともあります。
バドミントンの練習中、コートの中でスマッシュを決めては笑い、失敗しては笑い、とにかく何をしても笑いが絶えない、そんなサークルです。
ぜひ一緒に汗を流してみませんか。いつでも大歓迎です。

有効なさまざまな栄養素があると言われている部員26人が参加した。部員は、自宅で育てたヘチマから絞ったヘチマ水をろ過して持参。グリセリンやエタノールなどを混ぜ合わせて専用の容器に入れた。分担しながら作業を進め、最後にオリジナルのシールを容器に貼って300本の化粧水を完成させた。
参加者は「添加物が入っていないので安心して使える」と話した。



ヘチマ化粧水を作り替える部員



ともに歩んで55年! 足並みそろえ改革実践へ

秋の座談会に ご出席ください

市内
83会場で
開催

9月28日(金)
▶10月11日(木)

組合員の皆さまの意見や要望をJAの運営に反映し、組合員参加による協同組合運動を高めようと、秋の座談会を9月28日(金)から10月11日(木)まで市内83会場で開きます。

2018年度の上半期事業報告や第五次中期経営計画、JAはだの自己改革の情報などについて話し合います。

また、日頃JAについて疑問に思っていることや、ご意見・ご要望をぜひお聞かせください。組合員の皆さまのご出席をお願いいたします。



JA
はだ
の

発行所
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
編集兼発行者 宮永 均
印刷所 ㈱JA情報サービス

上半期の主な軌跡

6月 June

- 新たな地域振興作物として栽培を始めたラッキョウが初出荷を迎えました。農家から集荷したラッキョウは、JA全農かながわ中央ベジフルセンターを通じて漬物を生産する業者に出荷しました＝写真。
- 女性部が地産地消の取り組みとして実施する「自給率向上!大豆プロジェクト」が、今年度の活動をスタート。昨年より参加者が増えたことから作付面積を拡大し、部員60人が10㌦の畑に大豆の種をまきました。



3月 March

- 加工品を製造・販売する農家とJAがタッグを組み、特産品づくりに挑戦。じばさんずで同課が栽培した落花生を使った赤飯やまんじゅうを販売しました＝写真。
- 鳥獣被害対策作物として生産拡大が進むエゴマを使った「はだの生搾りえごま油」をじばさんずで販売。手作りのPOPを設置して来店者にPRしました。
- JAはだの各施設に設置している飲料自動販売機の収益の一部を「赤い羽根共同募金」として神奈川県共同募金会に寄付しました。



7月 July

- 県の水稲奨励品種「はるみ」の品質向上に向け、栽培農家をサポート。TACらが、生育状況の調査や地域の特性に合った効果的な栽培方法を指導しました＝写真。
- 国際協同組合デーに合わせ、各店舗でJAのオリジナル商品「はだの丹沢梨サイダー」を来店者に配布。協同組合への理解を促しました。
- スクリミングガイ(通称ジャンボタニシ)の駆除作業に役職員がボランティアとして参加しました。



4月 April

- 農業機械を農家に貸し出す農業機械利用事業を新たに立ち上げ、剪定(せんてい)チップのレンタルを始めました。事業利用に関する講習会を開き、修了者を対象に順次貸し出しています＝写真。
- 市街化区域農地を活用した「体験型農園」の開園を支援し、市内初の園が平沢にオープンしました。TAC(地域農業の担い手)に出向く営農担当者らが定期的に訪れ、作付け計画の策定や栽培指導などに協力しています。



8月 August

- 第22回夏休み子ども村を開き、群馬県嬬恋村や長野県中野市周辺を訪問。児童146人がトウモロコシの収穫などを体験しました＝写真。
- 秦野の魅力を再確認してもらおうと、秦野を舞台にした映画「じんじん〜其の二〜」の上映会を開きました。組合員や地域住民ら約1200人が訪れました。
- 創立記念式に組合員113人が出席。これまでの歩みを確認するとともに、今後の発展を誓い合いました。



5月 May

- JA自己改革の重要項目に掲げる「広報活動の充実・強化」の具体策の一つとして、「Instagram」に公式ページを開設しました＝写真。
- 本町支所が新装オープン。全自動貸金庫や多目的ホールなどを設け、地域の新たな拠点として再出発しました。
- 第55回通常総会を文化会館大ホールで開催し9議案を可決しました。また、役員改選の年であり、役員数を理事25人、監事5人に変更しました。



豊かな社会を協同の力で!

ともに歩んで
55年



2018年度上半期の状況

JAはだののすがた

2018年8月31日現在

()内は前年同期実績数字は単位未満切り捨て

11 万に備えての共済

長期共済新契約高 **258**億円(298億円)

長期共済保有高

4,431億8千万円(4,513億4千万円)

上半期に支払った事故共済金額

799件 **6**億5千万円
(750件 5億7千万円)

生命 **372**件 **4**億8千万円
(392件 3億9千万円)

内 建物 **78**件 **8**千万円
訳 (82件 8千万円)

自動車 **349**件 **9**千万円
(276件 1億円)



12 活動のみより

上半期剰余金

●億**●**千万円(1億7千万円)

13 (株)協同コンサルト はだの

- まかせて安心JAのマイホーム建設
- 入居者に喜ばれる共同住宅のあっせん



入居率

●●.●% (95.2%)

※入居率はJA系統の管理会社2社の数値です。

8 暮らしのための 共同施設の利用

- JAセレモニーホールはだの運営の充実強化
- 利用者に満足いただける旅行の提供

全体の取扱高 **●**億**●**千万円(3億1千万円)

主な施設の取扱高

旅行センター **●**千万円(4千万円)

JAセレモニーホールはだの
●●●件 **●**億**●**千万円(105件 2億5千万円)

9 便利で安心 JAバンク

- 農業応援定期の取り扱い
- 特別貯蓄運動・キャンペーンの実施
- 年金相談会の開催

貯金残高

2,228億円
(2,182億円)



10 農業・生活・事業資金 などのご融資

- 農業振興や生活・事業などの資金対応
- 休日ローン相談会の開催
- 住宅・マイカー・教育ローンとくどくプランの実施

貸出残高

417億2千万円(409億2千万円)

6 健康と福祉の 取り組み

- 「JA健康寿命100歳プロジェクト」の展開
- 高齢者福祉活動の充実
- 生活文化活動や子育て支援への取り組み
- 健康福祉基金による支援活動の充実

▶人間ドック受診者

利用者人数

216人(300人)

▶乳がん・子宮がん検診受診者

利用者人数

47人(50人)

▶長寿記念品の贈呈

利用者人数

82人(90人)



7 共同購入で 暮らしを豊かに

- 予約購買による生産資材の供給
- 安全・安心な生活物資のPRと供給

全体の供給高

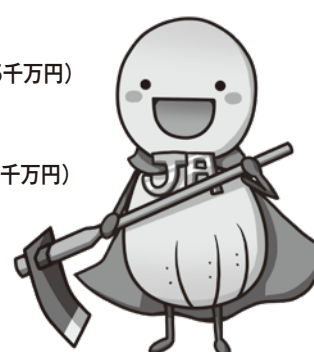
●●億**●**千万円(16億1千万円)

生産資材

内 **●**億**●**千万円(6億5千万円)

訳 生活物資

●億**●**千万円(9億5千万円)



4 営農活動の取り組み

- 営農指導の充実
 - ・営農指導員の確保と体制整備
 - ・TAC活動を通じた有用な情報提供機能の強化
 - ・地域の特性に合った振興作物の選定と生産拡大
- はだの都市農業支援センターとの連携
 - ・体験型農園オーナー制度や旅行会社と連携した観光農業の実践
 - ・鳥獣被害防止に向けた取り組みの実践



5 安全・安心な 農産物の供給

- 「はだのじばさんず」を中心とした新鮮で安全・安心な農産物の供給

はだのじばさんずの利用状況

利用者総数 **26**万人(28万人)

1日当たりの利用者数 **1,470**人(1,528人)

取扱高 **4**億**7**千万円(4億9千万円)

1日当たりの取扱金額 **268**万円(271万円)

全体の取扱高

●●億**●**千万円
(12億2千万円)



1 みんなの仲間

組合員数 **14,508**人(14,331人)

内 正組合員数 **2,975**人(3,001人)

訳 准組合員数 **11,533**人(11,330人)

組合員戸数 **11,931**戸(11,763戸)

内 正組合員戸数 **2,322**戸(2,339戸)

訳 准組合員戸数 **9,609**戸(9,424戸)

2 資本の状況

資本の合計

●●●億**●**千万円(152億7千万円)

内 出資金 **●●**億**●**千万円(17億8千万円)

訳 準備金・積立金他 **●●●**億**●**千万円(134億8千万円)

単体自己資本比率 (2018年2月28日現在)

●●.●●% (国の基準4%以上、JAバンク自主基準8%以上)

※資本は、貸借対照表の「純資産」のことです。

3 組織活動 教育広報の取り組み

- 支所運営委員会による協同活動の展開
- 次世代対策活動と食農教育活動の充実
- 生産組合組織の活性化に向けた取り組み
- 農政活動・税制と補償対策
- 公式インスタグラムを開設



JAはだの自己改革の実践(2018年度上半期の主な取り組み報告)

営農指導事業の強化	●葉ニンニクの生産拡大を目指し、種子140[※]を配布しました。 ●神奈川県推奨育成品種「湘南ポモロン(トマト)」の機能性農産物としての評価を試験する取り組みを始めました。 ●農業の担い手を支援するため、北荒茶工場を利用した「農の担い手みんなの倉庫」を開設しました。 ●貸出担当者が農業の担い手を訪問し、農業資金のニーズに対応しました(19件2497万円を実行)。
販売力の強化	●はだのじばさんずで出荷が集中した農産物を試験的に買い取り、量販店などに販売しました。 ●秦野産農産加工品などを詰め合わせたセットの取り扱いを開始しました。
生産購買の強化・再構築	●生産コスト低減に向けて実施している肥料の購入割引(3%)を、3か月間で60袋以上購入した方も対象にしました。 ●JAグリーンの利用拡大と農家の生産コスト削減に向け、生産資材の割引キャンペーンを継続的に実施しました。 ●農業機械を農家に貸し出す農業機械利用事業を新たに立ち上げ、剪定(せんてい)チッパーのレンタルを始めました。
組織運営・経営管理の改善	●農業応援定期貯金の8月末の取り扱い実績が全体で265件2億7150万円となりました。 ●農産加工者の所得向上を目指し「農産加工セミナー」を4回開催しました。 ●冊子「JAはだの営農経済改革への挑戦 CHALLENGE」を作成し、配布しました。

JAはだの「第五次中期経営計画」骨子(素案)について

1 策定にあたって

JAはだのは、中長期的な視野に基づき取り組む事項を整理するため3年ごとに「中期経営計画」を策定し、それを基礎に単年度ごとの事業計画でその具体的な実践に取り組んでいます。来年度以降の3か年(2019～21年度)では、自己改革の実現に向けてJAはだのが一丸となって取り組む「第五次中期経営計画」を策定し、実践していきます。

2 計画策定の考え方

「第五次中期経営計画」は、①重点実践計画と②総合基本計画の2本の柱によって、今後の経営環境の変化に対応する事業モデルの転換に取り組み、組合員や地域に対して農業協同組合としての役割を果たしていきます。

①重点実践計画

「持続可能な経営基盤の確立・強化」を新たに目標設定し、各事業の効率性・実効性を高めるとともに目標達成に資する業務をより明確にすることで、自己改革の基本目標「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に取り組めます。

②総合基本計画

現行の中期経営計画を踏襲しつつ、JAはだのを取り巻く情勢変化の基調を的確に捉え、組合員ニーズに即応した「組織」「事業」「経営」の各分野における充実強化を図ります。

3 重点実践計画に盛り込む項目

1 計画的営農指導の強化

- 営農指導員の育成強化
- 農業経営支援体制の強化
- 担い手育成と新たな農業経営の研究

2 販売事業の高機能化

- 販売専任部門の設置による販売戦略の高度化
- 買取販売システムの構築・強化
- 「はだのじばさんず」の販売力強化

3 トータル生産コストの削減

- コスト管理に基づいた営農指導
- より安価な生産資材の供給

4 組合員のアクティブメンバーシップ^(※)の強化

- 組合員の意思反映強化
- 支所支店を拠点とした組合員の結集力強化
- 地域とJAをつなぐ広報活動の充実
- 組合員と農業・JAとの関係強化

5 事業構造の再構築

- 重点実践計画達成に向けた経営資源の計画的再配分
- 金融共済事業のIT化
- 経済事業の収支改善

※「アクティブメンバーシップ」とは、組合員がJAの理念を理解し「わがJA」意識を持ち、積極的に事業利用と協同活動に参加すること。

自己改革達成へのアプローチ(イメージ)

